

瑞穂町長 杉浦 裕之 様

瑞穂町議会議長

古宮 郁夫

総務産業建設委員会委員長

山崎 栄

道路改善・買い物困難者対策についての要望書

日頃、議会活動及び運営に対し、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

総務産業建設委員会では、昨年11月16日に「みずほまちなか会議（以下：会議）」を開催し、委員会のテーマとして「道路事情・買い物困難者対策」について議論を行いました。町民の方々とグループ討議や意見交換を行い、委員会として会議で頂いた意見等を参考に協議を重ねた結果、「だれもが安心して移動できる道路づくり」「高齢者等が生活必需品などの入手に支障をきたさぬための施策」の必要性があるとの結論に至りました。

そこで、総務産業建設委員会として、道路改善、買い物困難者対策として下記のとおり要望いたします。

記

- 一、歩行者や車椅子使用等の交通弱者のため、「やさしい道路づくり」を目指すバリアフリー等の推進を望む。
- 一、町道2号線は、瑞穂中学校及び都立瑞穂農芸高校に沿った道路であり、多くの生徒が通学路として利用している。しかしながら、車通勤による南北の移動路としても多くの車両が通行しており、大変危険である。安全対策として、歩行者用カラー舗装、自動車へのイメージ狭窄の有効性の検討や施工も含め、危険回避に向けた道路づくりを望む。
- 一、買い物等の移動時における、交通手段の確保に関する要望が多く、現在、町において、「地域公共交通会議」を立ち上げ検討を始めているが、交通不便地域の早期解消を望む。
- 一、買い物困難者に対して、行政や自治会の一部では支援を始めている。しかしながら、今後、さらに高齢化が進行する中で、身近な商店は減少の一途であるため、歯止めとなる施策、また、高齢者の買い物等に同行し、支援するヘルパー等についての仕組みや体制の検討を望む。